

○地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

15 湘南国際村地区地区整備計画区域

制限事項	計画地区								
	交流施設 A地区	交流施設 B地区	研究・研 修施設地 区	生活支援 施設地区	低層専用 住宅地区	低層住宅 A地区	低層住宅 B地区	低層住宅 C地区	公共公益 施設地区
(1) 建築物の用途制限	次に掲げる建築物 ア 研究所又は イ 路線バスの 停留所の上家 ウ 学校 エ 図書館、博 物館又は美術 館 オ 事務所 カ 体育館、ス ポーツの練習 場又は水泳場 (ボーリング	次に掲げる建築物 ア 研究所又は イ 研修所 ウ 路線バスの 停留所の上家 ウ 学校、図 書館その他こ れらに類する もの エ 博物館又は 美術館 オ 事務所 カ 体育館、ス ポーツ	次に掲げる建築物 ア 研究所又は イ 学校 ウ 図書館、博 物館又は美術 館 エ 体育館、ス ポーツの練習 場又は水泳場 (ボーリング 場、スケート 場、スキー 場、ゴルフ練	次に掲げる建築物 ア 店舗又は飲 食店(風俗営 業、店舗型性 風俗特殊営 業、店舗型電 話異性紹介営 業及び特定遊 興飲食店営業 の用に供する もの並びに自 家販売のため に食品	次に掲げる建築物 ア 一戸建ての 住宅 イ 集会所 ウ 公益上必要 な建築物 エ アカウマ でに掲げる建 築物に附属す るもの。た だし、自動車 庫で当該自 動車庫の床	次に掲げる建築物 ア 一戸建ての 住宅 イ 長屋 ウ 共同住宅 エ 路線バスの 停留所の上家 オ アカエマ でに掲げる建 築物に附属す るもの。た だし、自動車 庫で当該自 動車庫	次に掲げる建築物 ア 長屋 イ 共同住宅 ウ 寄宿舎 エ 学校(大 学、高等専門 学校、専修学 校及び各種学 校を除く。) オ 老人ホーム、 老人福祉セン	次に掲げる建築物 ア 一戸建ての 住宅 イ 寄宿舎 ウ 学校(大 学、高等専門 学校、専修学 校及び各種学 校を除く。) エ 老人ホーム、 老人福祉セン	次に掲げる建築物 ア 汚物処理場 その他これに 類するもの イ 都市公園法 (昭和31年法 律第79号)第2 条第2項第3 号及び第5号 から第9号ま でに掲げる施 設 ウ 公益上必要

		場、スケート場、スキー場、ゴルフ練習場、バレーボール練習場、その他これらに類するものを除く。）	の練習場又は水泳場（ボーリング場、スケート場、スキー場、ゴルフ練習場、その他これらに類するものを除く。）	習場、バレーボール練習場、その他これらに類するものを除く。）	製造業（食品加工業を含む。）を営むパン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋、その他これらに類するもの（令第130条の5の2第4号に規定するものを除く。）を	面積の合計に同一敷地内にある建築物に附属する自動車庫の用途に供する工作物の築造面積（当該築造面積が50平方メートル以下である場合には、その値を減じた値を加えた値が600平方メートル（同一敷	庫の床面積の合計に同一敷地内にある建築物に附属する自動車庫の用途に供する工作物の築造面積（当該築造面積が300平方メートル以下である場合には、その値を減じた値を加えた値が3,000平方メートル（同一敷	ター、児童厚生施設、その他これらに類するもの（平成13年法律第26号）第5条第1項に規定するサービ	ター、児童厚生施設、その他これらに類するもの（平成13年法律第26号）第5条第1項に規定するサービ	な建築物（エ）アからウまでに掲げる建築物に附属するもの。ただし、自動車庫で当該自動車庫の床面積の合計に同一敷地内にある建築物に附属する自動
--	--	---	--	--------------------------------	---	--	--	---	---	---

		面積の 合計に 同一敷 地内に ある建 築物に 附属す る自動 車車庫 の用途 に供す る工作 物の築 造面積 を加え た値が 当該敷 地内に ある建 築物(自 動車車 庫の用 途に供 する部 分を除 く。)の 延べ面 積を超 えない もの(2 階以上 の部分 を自動	店舗型 風俗特 殊営業、 風俗営業 等の規制 及び業務 の適正化 に関する 法律第2 条第9項 に規定す る店舗型 電話異性 紹介営業 (以下「店 舗型電話 異性紹介 営業」と いう。) 及び同条 第11項に 規定する 特定遊興 飲食店営 業	製造業 (食品加工 工業を含 む。)を営 むパン屋 、米屋、 豆腐屋、 菓子屋 その他 これらに 類するもの (令第130 条の2第 4号に規定 するものを 除く。)の うち、延 べ面積の 2分の1以 上をア からエ までに掲 げる用途に	の事務 所で、 その用途 に供する 部分の床 面積の合 計が1,500 平方メー トル以内 のもの ウ 学習 塾、華道 教室、囲 碁教室 その他 これらに 類する施 設 エ 診療 所 オ 集会 場 カ ガソ リンスタ ン、自 動車用 液化石	物(自動 車車庫の 用途に供 する部分 を除く。) の延べ面 積の合計 が600平 方メー トル以 下の場 合において は、当該 延べ面積 の合計を 超えない もの(2階 以上の部 分を自動 車車庫の 用途に供 するもの を除く。)	地内に ある建 築物(自 動車車 庫の用 途に供 する部 分を除 く。)の 延べ面 積の合 計が3,000 平方メ ートル 以下の 場合に おいて は、当該 延べ面積 の合計を 超えない もの(2階 以上の部 分を自動 車車庫の 用途に供 するもの を除く。)	38年法 律第133 号)第29 条第1項に 規定する有 料老人ホ ームを除 く。)をい う。以下 同じ。)小 規模多機 能型居住 介護事業 所(介護保 険法(平成 9年法律 第123号) 第8条第 19項に規 定する小 規模多機	第130 条の5の 2各号に掲 げるもので 、その用途 に供する部 分の床面積 の合計が1 50平方メ ートル以 内のも の 兼用住宅 (延べ面積 の2分の1 以上を居 住の用に 供し、かつ 、カに掲 げる用途 を兼ねる ものに限 る。)	地内に ある建 築物(自 動車車 庫の用 途に供 する部 分を除 く。)の 延べ面 積を超 えない もの(2 階以上 の部分 を自動
--	--	--	---	---	--	--	---	---	---	---

		車庫 の用途 に供す るもの を除 く。)	(以下 「特定 遊興飲 食店営 業」と い う。) の用に 供する ものを 除 く。) のう ち、そ の用途 に供す る床面 積の合 計が500 平方メ ートル 以内の もの (令第 130条の 5の3 第1号 又は第 2号に 掲げる ものに 限 る。)	供し、 かつ、 店舗又 は飲食 店の用 途に供 する床 面積の 合計が 500平方 メートル 以内 のもの カ 寄宿 舎 キ 老人 ホー ム、保 育所、 福祉ホ ーム、 老人福 祉セン ター、 児童厚 生施設 その他 これら に類す るもの ク 診療 所又は 病院	油ガス スタン ド、プ ロパン ガス販 売所、 灯油販 売所そ の他こ れらに 類する もの キ 自動 車修理 工場 で、そ の用途 に供す る部分 の床面 積の合 計が150 平方メ ートル 以内の もの ク 法別 表第2 (イ)項第 9号に 規定す る公益 上必要		能型居 宅介護 を行う 事業所 をい う。以 下同 じ。) 又は認 知症対 応型共 同生活 介護事 業所 (同条 第20項 に規定 する認 知症対 応型共 同生活 介護を 行う事 業所を いう。 以下同 じ。) キ 診療 所 ク 店 舗、飲 食店そ の他こ	ク 図書 館、博 物館又 は美術 館 ケ 集会 所 コ 診療 所 サ 消防 署 シ 美術 品又は 工芸品 を製作 するた めのア トリエ 又は工 房(原動 機を使 用する 場合に あって は、そ の出力 の合計 が0.75 キロワ ット以 下のも のに限 る。)	
--	--	--------------------------------------	---	--	--	--	--	---	--

			ケ 公衆 便所 コ アか らケま でに掲 げる建 築物に 附属す るもの。 ただし、 自動車 車庫で 当該自 動車車 庫の床 面積の 合計に 同一敷 地内に ある建 築物に 附属す る自動 車車庫 の用途 に供す る工作 物の築 造面積 を加え た値が 当該敷	ケ 路線 バスの 停留所 の上家 コ 巡査 派出所、 公衆電話 所又は 令第130 条の4 第5号 に規定 するもの サ アか らコま でに掲 げる建 築物に 附属す るもの。 ただし、 自動車 車庫で 当該自 動車車 庫の床 面積の 合計に 同一敷 地内に	な建築物 (以下「公益 上必要な建築物」と いう。)ケ アか らクま でに掲 げる建 築物に 附属する もの。 ただし、 自動車 車庫で 当該自 動車車 庫の床 面積の 合計に 同一敷 地内に ある建 築物に 附属する 自動車 車庫の 用途に 供する 工作			れらに 類する 用途に 供する ものの うち令 第130 条の5 の2各 号に掲 げるもの (3階以上の 部分をその 用途に供 するものを 除く。)で、 その用途 に供する 部分の床 面積の合 計が150平方 メートル以 内のもの セ 公益 上必要な 建築物ソ アか らせま でに掲 げる建 築物に	で、その 用途に 供する 部分の 床面積 の合計 が150平方 メートル 以内の もの ス 展示 場で、 その用途 に供する 床面積 の合計 が150平方 メートル 以内の もの セ 公益 上必要な 建築物ソ アか らせま でに掲 げる建 築物に	
--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--

			<p>地内に ある建 築物(自 動車車 庫の用 途に供 する部 分を除 く。)の 延べ面 積を超 えない もの(2 階以上 の部分 を自動 車車庫 の用途 に供す るもの を除 く。)</p>	<p>ある建 築物に 附属す る自動 車車庫 の用途 に供す る工作 物の築 造面積 を加え た値が 当該敷 地内に ある建 築物(自 動車車 庫の用 途に供 する部 分を除 く。)の 延べ面 積を超 えない もの(2 階以上 の部分 を自動 車車庫 の用途 に供す るもの</p>	<p>物の築 造面積 を加え た値が 当該敷 地内に ある建 築物(自 動車車 庫の用 途に供 する部 分を除 く。)の 延べ面 積を超 えない もの(2 階以上 の部分 を自動 車車庫 の用途 に供す るもの を除 く。)</p>			<p>1 以上 をア及 びイに 掲げる 用途に 供する ものに 限る。)</p> <p>ケ 集会 所 コ 公益 上必要 な建築 物 サ アか らコま でに掲 げる建 築物に 附属す るもの 。た だし、 自動車 車庫で 当該自 動車車 庫の床 面積の 合計に 同一敷 地内に ある建</p>	<p>附属す るもの 。た だし、 自動車 車庫で 当該自 動車車 庫の床 面積の 合計に 同一敷 地内に ある建 築物に 附属す る自動 車車庫 の用途 に供す る工作 物の築 造面積 (当該築 造面積 が300 平方メ ートル 以下で ある場 合には、 その値を</p>	
--	--	--	--	---	--	--	--	---	---	--

				を除く。)				建築物に 附属する自動車車庫の用途に供する工作物の築造面積(当該築造面積が300平方メートル以下である場合には、その値を減じた値)を加えた値が3,000平方メートル(同一敷地内にある建築物(自動車車庫の用途に供	減じた値)を加えた値が3,000平方メートル(同一敷地内にある建築物(自動車車庫の用途に供する部分を除く。)の延べ面積の合計が3,000平方メートル以下の場合には、当該延べ面積の合計を超えないもの(2階以	
--	--	--	--	-------	--	--	--	--	--	--

								する部分を除く。)の延べ面積の合計が3,000平方メートル以下の場合においては、当該延べ面積の合計)を超えないもの(2階以上の部分を自動車庫の用途に供するものを除く。)	上の部分を自動車庫の用途に供するものを除く。)	
(2)	建築物の容積	10分の10	10分の10	10分の10	10分の10	10分の8	10分の8	10分の8	10分の8	10分の10



	率 の 最 高 限 度									
(3)	建 築 物 の 建 蔽 率 の 最 高 限 度	10分の4	10分の4	10分の4	10分の4	10分の4	10分の4	10分の4	10分の4	10分の4
(4)	建 築 物 の 敷 地 面 積 の 最 低 限 度	4,000平方 メートル。ただ し、路線 バスの停 留所の上 家の用途 に供する ものにつ いては、 この限り でない。	4,000平方 メートル（店舗、 飲食店そ の他これ らに類す るものに ついては、200平 方メートル） 。ただし、路 線バスの 停留所の 上家及び	2,000平方 メートル。ただ し、巡査 派出所、 公衆電話 所、路線 バスの停 留所の上 家及び令 第130条の 4第5号 に規定す るものに ついて	500平方メ ートル。た だし、公 益上必要 な建築物 については、こ の限りで ない。	200平方 メートル。ただ し、公益 上必要な 建築物に ついては、この 限りでな い。	200平方 メートル（長屋及び 共同住宅 について は、 2,000平 方メートル 以上 で、か つ、住戸 の数に 200平方 メートル を乗じて	長屋及び 共同住宅 は、 2,000平 方メートル 以上 で、か つ、住戸 の数に 100平方 メートル を乗じて 得た面積 以上とす	500平方 メートル。ただ し、公益 上必要な 建築物に ついては、この 限りでな い。	

			公衆便所の用途に供するものについては、この限りでない。	は、この限りでない。			得た面積以上とする。)ただし、路線バスの停留所の上家の用途に供するものについては、この限りでない。	る。		
(5)	壁面に位置の制限	道路境界線に面する部分は10メートル及び隣地境界線に面する部分は5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バスの停留所	道路境界線に面する部分は10メートル及び隣地境界線に面する部分は5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バス	道路境界線に面する部分は10メートル及び隣地境界線に面する部分は5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バス	5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バス	道路境界線に面する部分は3メートル及び隣地境界線に面する部分は1.5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バス	道路境界線に面する部分は3メートル及び隣地境界線に面する部分は1.5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バス	道路境界線に面する部分は3メートル及び隣地境界線に面する部分は1.5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バス	道路境界線に面する部分は3メートル及び隣地境界線に面する部分は1.5メートル。ただし、外壁等の面からの後退距離の限度に満たない距離にある建築物又は建築物の部分の路線バス	道路境界線に面する部分は1.5メートル及び隣地境界線に面する部分は1メートル。ただし、路線バスの停留所の上家に供する建築物にあつては、この限りでない。

		の上家に 供するも のについ ては、こ の限りで ない。	当する場 合は、こ の限りで ない。 ア 路線 バスの 停留所 の上家 イ 公衆 便所の 用途に 供する もので 道路境 界線か らの距 離が1.5 メートル 以上 で、か つ、隣 境界線 からの 距離が 1メー トル以 上であ るもの ウ 店 舗、飲 食店 その他 これら に類す る用	にある 建築物 又は建 築物の 部分 が、巡 査派出 所、公 衆電話 所及び 令第130 条の4 第5号 に規定 するも ので道 路境界 線から の距離 が1.5メ ートル 以上 で、か つ、隣 地境界 線から の距離 が1メ ートル 以上で あるも のにつ いて	ド、自 動車用 液化石 油ガス スタン ド、プ ロパン ガス販 売所、 灯油販 売所そ の他こ れらに 類する もの イ 路線 バスの 停留所 の上家 ウ 公益 上必要 な建築 物(イに 掲げる ものを 除く。)	れかに該 当する場 合は、こ の限りで ない。 ア 路線 バスの 停留所 の上家 イ 公益 上必要 な建築 物(アに 掲げる ものを 除く。)	れかに該 当する場 合は、こ の限りで ない。 ア 路線 バスの 停留所 の上家 イ 公益 上必要 な建築 物(アに 掲げる ものを 除く。)	れかに該 当する場 合は、こ の限りで ない。 ア 路線 バスの 停留所 の上家 イ 公益 上必要 な建築 物(アに 掲げる ものを 除く。)	れかに該 当する場 合は、こ の限りで ない。 ア 路線 バスの 停留所 の上家 イ 公益 上必要 な建築 物(アに 掲げる ものを 除く。)
--	--	---	--	--	---	--	--	--	--

			途に供するもので、外壁等の面から敷地境界線までの距離が5メートル以上のもの	は、この限りでない。	で、かつ、隣地境界線からの距離が1メートル以上であるもの	ウ 付属建築物の自動車車庫で、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、後退距離に満たない部分の床面積の合計が7.5平方メートル以内であるもの(道路境界線からの距離が1.5メートル以上で、かつ、隣地境界線からの距離	ウ 付属建築物の自動車車庫で、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、後退距離に満たない部分の床面積の合計が7.5平方メートル以内であるもの(道路境界線からの距離	ウ 付属建築物の自動車車庫で、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、後退距離に満たない部分の床面積の合計が7.5平方メートル以内であるもの(道路境界線からの距離	ウ 付属建築物の自動車車庫で、軒の高さが2.3メートル以下で、かつ、後退距離に満たない部分の床面積の合計が7.5平方メートル以内であるもの(道路境界線からの距離	
--	--	--	---------------------------------------	------------	------------------------------	---	--	--	--	--

						が1メートル以上であるものに限る。)	が1メートル以上であるものに限る。)	が1メートル以上であるものに限る。)	が1メートル以上であるものに限る。)	
(6)	建築物の高さの最高限度	地盤面から15メートル（軒の高さは7メートルとし、地階を除く階数は2以下とする。）。ただし、店舗、飲食店その他これらに類する用途に供するものにあつては、地盤面から10メートルとし、かつ、真北方向の各部分の地盤面（建	地盤面から15メートル（軒の高さは7メートルとし、地階を除く階数は2以下とする。）。ただし、店舗、飲食店その他これらに類する用途に供するものにあつては、地盤面から10メートルとし、かつ、真北方向の各部分の地盤面（建	地盤面から15メートル	地盤面から15メートル	地盤面から10メートル（軒の高さは7メートルとし、地階を除く階数は2以下とする。）。ただし、真北方向の各部分の地盤面（建築物の敷地の地盤面（隣地に建築物がない場合においては、当該隣地の平均地表面をいう。）より	地盤面から10メートル（戸建ての住宅にあつては、軒の高さは7メートルとし、地階を除く階数は2以下とする。）。ただし、真北方向の各部分の地盤面（建築物の敷地の地盤面（隣地の地盤面（建築物の敷地の地盤面が北側の隣地の地盤面（隣地に建築物がない場合においては、当該隣地の平均地表面をいう。）より	地盤面から10メートル。ただし、真北方向の各部分の地盤面（建築物の敷地の地盤面（隣地に建築物がない場合においては、当該隣地の平均地表面をいう。）より	地盤面から10メートル（戸建ての住宅及び兼用住宅にあつては、軒の高さは7メートルとし、地階を除く階数は2以下とする。）。ただし、真北方向の各部分の地盤面（建築物の敷地の地盤面（隣地に建築物がない場合においては、当該隣地の平均地表面をいう。）より	地盤面から15メートル

			<p>築物の敷地の地盤面が北側の隣地の地盤面（隣地に建築物がない場合においては、当該隣地の平均地表面をいう。）より1メートル以上低い場合においては、その建築物の敷地の地盤面は、当該高低差から1メートルを減じたものの2分の1だけ高い位置にあるものとみなす。）からの高</p>		<p>1メートル以上低い場合においては、その建築物の敷地の地盤面は、当該高低差から1メートルを減じたものの2分の1だけ高い位置にあるものとみなす。）からの高さ</p>	<p>隣地の平均地表面をいう。）より1メートル以上低い場合には、その敷地の地盤面は、当該高低差から1メートルを減じたものの2分の1だけ高い位置にあるものとみなす。）からの高さ</p>	<p>盤面は、当該高低差から1メートルを減じたものの2分の1だけ高い位置にあるものとみなす。）からの高さ</p>	<p>いては、当該隣地の平均地表面をいう。）より1メートル以上低い場合においては、その建築物の敷地の地盤面は、当該高低差から1メートルを減じたものとみなす。）からの高さ</p>	
--	--	--	--	--	---	---	--	--	--

			さは、当該部分から前面道路の反対側の境界線又は隣地境界線までの真北方向の水平距離に1.25を乗じて得たものに5メートルを加えたものとする。			を加えたものとする。	1.25を乗じて得たものに5メートルを加えたものとする。		平距離に1.25を乗じて得たものに5メートルを加えたものとする。	
(7)	建築物の形態又は意匠の制限	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の2以上10分の15以下とする。	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の2以上10分の15以下とする。	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の2以上10分の15以下とする。	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の3以上10分の6以下とする。	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の1以上10分の6以下とする。(一戸建て	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の1以上10分の6以下とする。	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の1以上10分の15以下とする。(一戸建て	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の2以上10分の15以下とする。	建築物の屋根の水平投影面積の2分の1を超える部分又は寄棟等の勾配を有する形状とし、その勾配は10分の2以上10分の15以下とする。

						の住宅に あって は、10分 の3以上 10分の6 以下)とす る。		の住宅に あって は、10分 の3以上 10分の6 以下)とす る。	
(8)	へい等 いは、地盤 等面からの の高さが1.2 メートル 以下(学 校、テニ スコー ト、運動 場その他 これらに 類する用 途に供す るものに 設けるも ののへい 等の高さ にあつて は、この 限りでな い。)の 網状その 他これに 類する形	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下(学 校、テニ スコー ト、運動 場その他 これらに 類する用 途に供す るものに 設けるも ののへい 等の高さ にあつて は、この 限りでな い。)の網 状その他 これに類 する形状	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下(学 校、テニ スコー ト、運動 場その他 これらに 類する用 途に供す るものに 設けるも ののへい 等の高さ にあつて は、この 限りでな い。)の網 状その他 これに類 する形状	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下の網 状その他 これに類 する形状 のもの。 ただし、 ガソリン スタン ド、自動 車用液化 ガススタ ンド、プ ロパンガ ス販売 所、灯油 販売所そ の他これ らに類す るものの	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下の網 状その他 これに類 する形状 のもの。	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下の網 状その他 これに類 する形状 のもの。	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下(学 校の周囲 に設ける へい等の 高さにあ つては、 この限り でない。)の 網状その 他これに 類する形 状のもの。	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下(学 校の周囲 に設ける へい等の 高さにあ つては、 この限り でない。)の 網状その 他これに 類する形 状のもの。	へい等 は、地盤 面からの の高さが1.2 メートル 以下(テ ニスコー ト、運動 場その他 これらに 類する用 途に供す るものに 設けるも ののへい 等の高さ にあつて は、この 限りでな い。)の 網状その 他これに 類する形 状のもの



		状のも の。	のもの	状のも の。	周囲に設 けるもの で、当該 施設の設 置に關す る法令等 でその設 置が義務 付けられ ているも のにあつ ては、こ の限りで ない。					の。
--	--	-----------	-----	-----------	---	--	--	--	--	----